

〔諸國名義考〕下美作

和名抄に美萬佐加國、名義いまだ考へ得ず、強ていはゞ、美和坂にてはあらざるか、此國はもと備前國より分れたり、苦東郡に美和郷あり、延喜神名式に、備前國邑久郡美和神社あり、か、ればいにしへはかなたこなたおしなべて美和と云けむを、續日本紀、元明天皇和銅六年夏四月乙未、割備前國六郡、始置美作國とあり、この時美和郷は分たる境なるべければ、名に負いて美和境ミワサカと云るか、これらはおのが強説なり、立入信友は眞島郡に美甘郷あれど、和名抄に訓法なし、もし美宇麻なるか、又は美万なるか、國人に問まほし、か、らば美甘坂ならむかともいへり、

位置
〔地勢提要〕乾各國經緯度 附里程

美作津山 堺町 極高三十五度三分半、經度西一度四十三分半、從東都 同上 東海道 西國海道 自一百八十八里四町三十二間半、

〔日本經緯度實測〕北極出地

美作 津山 三五度〇三分三〇秒 略 中

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒 略 中 美作 津山 西一度四三分一九秒

〔名所方角抄〕美作國分 丹後境なり、西申の方より也、

〔日本地誌提要〕五十二疆域 東ハ、播磨、西ハ備中、伯耆、南ハ備前、北ハ伯耆、因幡ニ至ル、東西凡壹拾四里、南北凡壹拾壹里、

〔易林本節用集〕下美作州 上、管七郡、東西三日餘、四境圍寒 寒恐 无風、草木衣食繁多、中上國也、

〔日本地誌提要〕五十二形勢 山嶽四疆ニ連亘シ、自カラ州界ヲナス、南方地勢漸ク低ク、河水盡ク備前ニ奔注ス、地味膏腴、米麥能熟シ、北方之ニ反ス、民俗樸陋、

地勢

疆域